

2) 授業科目の単位数

① 各授業科目の単位数と開講期は、実行教育課程表に示されている(23ページ以下の表を参照)

② 単位数は、次のように計算される。

ア 1単位は45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としている。

イ 教養科目(主題別科目・総合科目及び一般教育演習)

毎週1コマの授業が15週で2単位

ウ 教養科目(共通科目)

講義科目(含む体育学B)……毎週1コマの授業が15週で2単位

体育学A……毎週1コマの授業が15週で1単位

エ 教養科目(外国語科目及び外国語演習)

外国語科目の英語……毎週1コマの授業が15週で1単位

英語以外の外国語科目……毎週2コマの授業が15週で2単位

外国語演習……毎週1コマの授業が15週で2単位

オ 基礎科目

毎週1コマの授業が15週で2単位

実験は毎週2コマの授業が15週で2単位

カ 日本語科目及び日本事情に関する科目

日本語……毎週2コマの授業が15週で2単位

日本事情……毎週1コマの授業が15週で2単位

3) 学修の要点

学修の計画は、あくまでも個人の責任において立てるものである。計画を立てるにあたっては、次の点に留意すること。

- ① 各学期末までに学修すべき科目と最低必要単位数が決められている。進級に支障を来すことのないように、計画を立てること。
- ② 特定の学期に学修の負担が偏らないように、各学期ごとに、均衡のとれた計画を立てること。
- ③ 理解できない点があれば安易に決断せず、クラス担任教員、授業科目担当教員、学部教務担当窓口または高等教育機能開発総合センター⑧⑨番窓口(全学教育担当)で相談すること。

全学教育科目実行教育課程表

区分	授業科目	単位数	開講期								備考			
			1年次		2年次		3年次		4年次~					
			1学期	2学期	1学期	2学期	1学期	2学期	1学期	2学期				
教養科目	主題別科目	思索と言語(2)	選	選	選	選	選	選	選	選	選	2科目4単位以上を修得すること。	1 主題別科目, 総合科目, 一般教育演習及び共通科目から合計14単位以上を修得すること。 2 主題別科目及び一般教育演習に論文指導2単位を開講する。 3 第1項の単位数には論文指導2単位以上を含むこと。 4 インターンシップA及びBの単位は, 卒業に必要な単位数に算入することができない。	
	歴史の視座(2)	選	選	選	選	選	選	選	選	選				
	芸術と文学(2)	選	選	選	選	選	選	選	選	選				
	社会の認識(2)	選	選	選	選	選	選	選	選	選				
	科学・技術の世界(2)	選	選	選	選	選	選	選	選	選				
	論文指導													
	総合科目	環境と人間(2)	選	選	選	選	選	選	選	選	選	2科目4単位以上を修得すること。		
	健康と社会(2)	選	選	選	選	選	選	選	選	選				
	人間と文化(2)	選	選	選	選	選	選	選	選	選				
	特別講義(2)	選	選	選	選	選	選	選	選	選				
	一般教育演習	論文指導	(2)	選	選							2単位以上を修得すること。		
	共通科目	体育学A	1	選	選	選								情報学I及び統計学を必修とする。
		体育学B	2	選	選	選								
		情報学I	2	必										
		情報学II	2		選									
統計学		2	必											
インターンシップA		2	選		選									
インターンシップB		1	選		選									
外国語科目	英語I	1	必									1 英語I, 英語II, 英語III及び英語IVを必修とする。 2 英語以外の1か国語, 4単位を修得すること。		
	英語II	1	必											
	英語III	1		必										
	英語IV	1		必										
	ドイツ語I	2	選必											
	ドイツ語II	2		選必										
	フランス語I	2	選必											
	フランス語II	2		選必										
	ロシア語I	2	選必											
	ロシア語II	2		選必										
	スペイン語I	2	選必											
	スペイン語II	2		選必										
	中国語I	2	選必											
	中国語II	2		選必										
	韓国語I	2	選必											
韓国語II	2		選必											
外国語演習	英語演習	(2)	選	⑧	⑨	選	選	選	選	選	選	1 英語演習2単位を必修とする。 2 前項の英語演習2単位は, 第1年次第2学期あるいは第2年次第1学期に履修することを原則とする。		
	ドイツ語演習	(2)	選	選	選	選	選	選	選	選	選			
	フランス語演習	(2)	選	選	選	選	選	選	選	選	選			
	ロシア語演習	(2)	選	選	選	選	選	選	選	選	選			
	スペイン語演習	(2)	選	選	選	選	選	選	選	選	選			
	中国語演習	(2)	選	選	選	選	選	選	選	選	選			
	韓国語演習	(2)	選	選	選	選	選	選	選	選	選			
外国語特別演習	(2)	選	選	選	選	選	選	選	選	選				

教養科目及び基礎科目から合計40単位以上を修得すること

教養期	区分	授業科目名	授業科目の種類	単位数	開講時期						備考		
					1年次 第1期	2年次 第2期	3年次 第4期	4年次 第7期	5年次 第9期	6年次 第11期		7年次 第12期	
総合教育期	総合	総合基礎英語	講義	10									左記の実習23科目を総合して「臨床実習」として実施する。
		総合基礎英語	講義	3.5									
		総合基礎英語	講義	2									
		総合基礎英語	講義	0.5									
		総合基礎英語	講義	1.5									
		総合基礎英語	講義	1.5									
		総合基礎英語	講義	4									
		総合基礎英語	講義	1									
		総合基礎英語	講義	1									
		総合基礎英語	講義	2									
		総合基礎英語	講義	2.5									
		総合基礎英語	講義	2									
		総合基礎英語	講義	0.5									
		総合基礎英語	講義	2									
		総合基礎英語	講義	1									
		総合基礎英語	講義	4.5									
		総合基礎英語	講義	4.5									
		総合基礎英語	講義	1									
		総合基礎英語	講義	4									
		総合基礎英語	講義	4.5									
		総合基礎英語	講義	1									
		総合基礎英語	講義	2.5									
		総合基礎英語	講義	2.5									
総合基礎英語	講義	0.5											
総合基礎英語	講義	0.5											
総合基礎英語	講義	2											
総合基礎英語	講義	0.25											
総合基礎英語	講義	1											
総合基礎英語	講義	0.25											
総合基礎英語	講義	1											
総合基礎英語	講義	0.5											
総合基礎英語	講義	0.5											
総合基礎英語	講義	71											
小計				170.5									

総履修単位数：40単位（全学教育科目）+170.5単位（専門科目）=210.5単位

講義・演習 = 30時間をもって1単位とする。
実習 = 45時間をもって1単位とする。

4) 学修上の注意

① 教養科目及び基礎科目の一部については、それぞれの授業に講義科目が付けられている。これらの授業のうち、同一の分野の授業で講義科目が同じ場合には、重複して履修することはできない。

(例1) A教員が1学期に「北海道の自然を探る」という講義科目で一般教育演習を2コマ(月曜日2講時・水曜日3講時)開講している場合、履修できるのはどちらか1コマである。

(例2) 1年次にB教員が開講する一般の講義「古代ギリシャの文学」という科目を単位修得した場合で、2年次に同じくB教員が論文指導講義として「古代ギリシャの文学」を開講した場合は、同一の科目として取り扱うことから、履修はできない。

② 教養科目（外国語科目及び外国語演習）

外国語科目及び外国語演習について

必修科目として英語を指定している。

また、選択必修科目として、ドイツ語、フランス語、ロシア語、スペイン語、中国語、韓国語の中から1カ国語を選択し、修得しなければならない。それぞれの外国語の必修単位数、履修形態は異なるので、十分注意すること。

英語以外の外国語（ドイツ語、フランス語、ロシア語、スペイン語、中国語、韓国語）を、説明の便宜上、初習外国語と呼ぶことにする。

英語

ア 英語は、必修として英語Ⅰ（1単位）、英語Ⅱ（1単位）、英語Ⅲ（1単位）、英語Ⅳ（1単位）および英語演習（2単位）の合計6単位を修得しなければならない。

イ 2年次第1学期までに、上記の必修6単位を修得していなければ2年次留め置きとなる。

ウ 英語Ⅰ、Ⅱは1年次1学期、Ⅲ、Ⅳは1年次2学期に開講される。

エ 英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ及びⅣの概要は次のとおりである。

英語Ⅰ 発信型基礎練習。発音、パラグラフライティング、口頭発表などの基礎を学ぶ。

英語Ⅱ 受信型基礎練習。CALL教材を使ったオンライン授業。学期に渡って与えられる課題をこなし、学期中（6月中旬）に行われるTOEFL-ITP試験を受験する。その結果によって成績評価が行われる。初回のガイダンスに必ず出席すること。

TOEFL-ITP試験について

この試験は、語彙力、文法力、読解力、聴解力の各分野に渡って、学生の英語学力を客観的に測定するものである。受験料（4,000円程度）は学生の負担とする。詳細については、英語Ⅱのガイダンスで教員から説明がある。

英語Ⅲ 主として技能別の応用練習。クラス選択希望調査に基づき、習熟度別クラス編成を行う。選択肢はスピーキング、ライティング、リスニング、リーディング、CALL授業（以上、中級）のほか「総合基礎英語」（初級）を設ける。

中級の受講者はTOEFL-ITP試験において420点以上を取得した者、初級の受講者は420点未満の者が望ましい。

英語Ⅲの受講クラスの決定について

申請書を提出し、抽選により決定する。詳細については7月中旬（予定）に掲示にて周知する。